



山西小学校便り

山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》



「どんぐり山」のコスモスも秋景色を演出しています。

令和2年10月7日(水) no.26 文責：上田

子どもの幸福度ランキング総合20位？！

ユニセフ(国連児童基金)が発表した「子どもの幸福度」で、日本は先進国38か国中、20位という結果が公表されました。この調査は、子どもの精神的、身体的な健康と学力・社会スキル等についてランキング化したもので、満足度を0~10で示し、6以上を満足とした割合で集計されたものです。主な調査結果は、

- ・15歳から19歳の自死率が平均より高く、精神的な幸福度は37位
- ・5歳から14歳の死亡率、肥満である5歳から19歳の子どもの割合が平均より低く、身体的健康は1位
- ・読解力、数学の基礎習熟度に達している15歳の割合や、「すぐに友達ができる」と答えた15歳の割合といった学力・社会的スキルは37位 などです。

この調査で私が注目したのは、自分は学校の集団の一員である意識(学校帰属度)が高い子ほど満足度が高いということです。一方、調査では家庭の経済状況が子どもの教育機会とも相関していることが指摘されています。

5日(月)の熊日新聞に『「生活満足度」政策に反映』という記事がありました。政府統計では「健康状態」(平均・健康寿命、運動習慣など)「安全」(交通事故の死者、刑法犯の発生件数など)「ライフワークバランス」「家計と資産」が指標とされていました。また、同日の新聞には『家族介護する子 初の実態調査へ』というヤングケアラー(病気などのある家族の介護をする18歳未満の子ども)についての実態調査が行われるという記事がありました。調査、統計はあくまでも数値ですが、その背景を考えると見えてくる事柄があります。子ども一人一人の生育環境は違っても、子どもの成長に喜びを感じる学校や家庭であることが肝要です。

阿蘇教育事務所・西原村教育委員会が来校

5日(月)の阿蘇教育事務所、7日(水)の西原村教育委員会と、今週は関係機関からの学校訪問が続きました。本校の取組について理解を得るとともに、課題等についての助言をいただくことができました。「子どもたちが落ち着いている」「やさしさとともに厳しさも感じられた」という声が聞かれたこともありがたいと思いました。

さらに《なかよく:心優しく、思いやりのある子》《かしこく:深く考え、表現する子》《たくましく:体を鍛え、粘り強い子》を目指し、教育活動の充実に努めたいと思いました。